

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2020年5月)

【内政】

- 17日、地方議会議員選挙が特段の混乱もなく実施された。(18日, *La Nation* 紙)
- 20日から21日にかけての夜、独立国家選挙委員会(CENA)は、地方議会議員選挙の暫定結果を発表した。1,815議席中、UP党が820議席、BR党が735議席、野党FCBE党が260議席を獲得した。投票率は、49.14%。PRD党、UDBN党は、全国投票総数の10%を獲得できなかつたため、議席を獲得できなかつた。(22日, *La Nation* 紙)

【外政】

- 14日、政府は第6回ベナン・EU政策対話の準備会合をEU加盟国の外交団との間で開催した。ベナン側の出席者は、アベノンシ外務・協力相、ラフィア内務・治安相、ワダニ経済・財務相であり、EU側はフランス、ドイツ、オランダ、ベルギーの大天使であった。(15日, *La Nation* 紙)

【治安・保健】

- 6日、政府は新型コロナウイルスの予防対策を講じた上で防疫地帯を解除することを閣議決定した。(7日, *Le Matinal* 紙)
- 12日、新型コロナウイルス対策として、コトヌ空港に分類・検査センターが設置された。ウンパティン保健相は、全入国者に対し同センターにて強制的にRDT検査を実施することを発表した。(13日, *La Nation* 紙)

【経済】

- 国立統計・分析・研究所(INSAE)の失業に関する調査により、ベナン人の失業者に占める25歳-34歳の割合が38.9%(うち男性35.4%, 女性42.1%)であることが明らかとなつた。同35歳-64歳は31.7%。(6日, *L' Économiste* 紙)

【文化・その他】

- 6日、政府は3月30日より一時休校となつた教育機関を11日より学年ごとに段階的に再開することを閣議決定した。(7日, *Le Matinal* 紙)

※下記内容は、*La Nation* 紙、*Le Matinal* 紙、*L' Événement Précis* 紙、*L' Économiste* 紙、および*Le Matin Libre* 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- 6日、ビオ・チャネ計画・開発担当国務相は *La Nation* 紙との対談形式で、政府行動計画(PAG)及びSDGsの達成状況に言及しつつ、タロン政権発足後4年間の開発事業の成果について総括した。(6日, *La Nation* 紙)
- 17日、地方議会議員選挙が特段の混乱もなく実施された。(18日, *La Nation* 紙)

- ・ 17日, 地方議会議員選挙によりFCBE党のウンペ幹事長は, ボパ市の市議会議員に選出された。(22日, *L' Evénement Précis* 紙)
- ・ 20日から21日にかけての夜, 独立国家選挙委員会(CENA)は, 地方議会議員選挙の暫定結果を発表した。1,815議席中, UP党が820議席, BR党が735議席, 野党FCBE党が260議席を獲得した。投票率は, 49.14%。PRD党, UDBN党は, 全国投票総数の10%を獲得できなかつたため, 議席を獲得できなかつた。(22日, *La Nation* 紙)
- ・ 28日, 地方議会議員選挙により選出された議員が就任し, 15市において市長が選出された。(29日, *Le Matinal* 紙)

【外政】

- ・ 5日, 当地アベノンシ外務・協力相は *La Nation* 紙との対談形式で, ナイジェリアとの国境問題, EU大使の追放, ベナンの経済外交, 大使館の削減等に言及し, タロン政権発足後4年間の外交成果について総括した。(5日, *La Nation* 紙)
- ・ 13日, ベナンの在外公館の削減方針に伴い, 在デンマーク大使館が7月31日から閉鎖されることが公表された。(15日, *Le Matinal* 紙)
- ・ 14日, 政府は第6回ベナン・EU政策対話の準備会合をEU加盟国の外交団との間で開催した。ベナン側の出席者は, アベノンシ外務・協力相, ラフィア内務・治安相, ワダニ経済・財務相であり, EU側はフランス, ドイツ, オランダ, ベルギーの大天使であった。(15日, *La Nation* 紙)
- ・ 28日, ベナン政府は準備会合に続き, 第6回ベナン・EU政策対話を実施した。(30日, *La Nation* 紙)

【治安・保健】

- ・ 国民議会議員83名は, 新型コロナウイルス対策として2,000万CFAフラン(約400万円)の義援金を政府に贈呈した。(8日, *La Nation* 紙)
- ・ 6日, 政府は新型コロナウイルスの予防対策を講じた上で防疫地帯を解除することを閣議決定した。(7日, *Le Matinal* 紙)
- ・ 12日, 新型コロナウイルス対策として, コトヌ空港に分類・検査センターが設置された。ウンパティン保健相は, 全入国者に対し同センターにて強制的にRDT検査を実施することを発表した。(13日, *La Nation* 紙)
- ・ 12日, ペン駐ベナン中国大使は, 17日に開催される地方議会議員選挙での新型コロナウイルス感染を予防するため, 手洗い装置, マスク等の予防器具を独立国家選挙委員会(CENA)に提供した。(13日, *La Nation* 紙)
- ・ 13日, タロン大統領は, ギニア湾海賊対策の実効性を上げるため, 閣議後にコトヌ自治港総局, ベナン国軍との会合を開催した。(14日, *La Nation* 紙)
- ・ 15日, 政府は新型コロナウイルス対策として受領した義援金が, 20億1,800万CFAフラン(約4億円)に達したことを公表した。(18日, *Le Matinal* 紙)

- ・ 19日、新型コロナウイルス感染者数の算出方法に関し、ベナン政府はWHOの推奨に従い修正した結果、339名とされていた数が130名と下方修正された。(20日, *La Nation* 紙)
- ・ ベナン政府は、新型コロナウイルスの影響で外国に取り残されたベナン人の帰還支援を行い、20日、クウェートから188名が帰国し、累積帰還者数が381名となった。(27日, *L'Économiste* 紙)
- ・ 21日、新型コロナウイルスを原因とする3人目の死者が確認された。43歳男性で、高血圧、糖尿病の疾患を抱えていた。(25日, *Le Matinal* 紙)
- ・ 26日、テロ対策経済犯罪裁判所(CRIET)は、テロ容疑者を釈放したとして、カンディ第一審裁判所所属の検事、その代行及びカンディ市臨時警察署長を訴追した。(27日, *La Nation* 紙)
- ・ 26日、新型コロナウイルスの累積感染者数が208名となったことが公表された。(27日, *Le Matin Libre* 紙)
- ・ 27日、政府は新型コロナウイルス対策措置を一部緩和することを閣議決定した。6月2日より、マスクの着用及び対人間隔の確保を義務づけた上で宗教施設が再開されることとなる。(28日, *La Nation* 紙)

【経済】

- ・ 国立統計・分析・研究所(INSAE)の失業に関する調査により、ベナン人の失業者に占める25歳-34歳の割合が38.9%(うち男性35.4%, 女性42.1%)であることが明らかとなった。同35歳-64歳は31.7%。(6日, *L'Économiste* 紙)
- ・ 6日、政府は、サイバーセキュリティに関する国家戦略を閣議決定した。(7日, *Le Matinal* 紙)
- ・ 18日、投資・輸出促進局のガンベ局長は、新規企業者向けのオンライン会社設立プラットフォーム「monentreprise.bj」を導入したことを公表した。(19日, *La Nation* 紙)

【文化・その他】

- ・ 6日、政府は3月30日より一時休校となっていた教育機関を11日より学年ごとに段階的に再開することを閣議決定した。(7日, *Le Matinal* 紙)
- ・ 11日、3月30日より一時休校となっていた小・中学校が一部の学年から再開した。再開にあたり、学校関係者に対し一斉PCR検査が実施された。(11日, *La Nation* 紙)
- ・ バカラレア事務局は、2020年度のバカラレア試験数の登録者数は、95,404人であり、7月20日にベナン全土137会場で実施することを公表した。昨年の登録者数は100,024名であった。(28日, *La Nation* 紙)